物部川の環境と資源を守り育てる　**物部川漁協組合長に聞く**

物部川漁業協同組合の取り組み

日本一のおいしいアユに選ばれた天然物

全国の釣り人が注目する天然アユ100％のこだわり

物部川のアユで特筆すべきは、天然アユ100％にこだわっているという点です。県内ほとんどの河川で人工産のアユが放流されていますが、物部川の杉田ダムから下流域は全て天然物。つまり、秋に物部川でふ化したアユの稚魚が川を下って海に至り、春になって成長したアユが遡上して物部川に帰ってくる。そしてまた卵を産むという自然のサイクルで成り立っているのです。

物部川下流域でも、平成22年までは放流事業に取り組んでいました。しかし、放流アユは天然アユに比べて生命力が弱く、天然アユとの生存競争に負けてしまいます。それならばいっそ、アユが自然のサイクルの中で生きていける川づくりをした方が良いのではないか。例のない取り組みで不安もありましたが、覚悟を決め、平成23年から100％天然アユへの転換を図りました。

天然アユを育てるために、他の河川と比べて格段に広い禁漁区域の設定や落ちアユ（産卵のため川を下るアユ）の禁漁、産卵場の造成など、さまざまな取り組みを実施しています。これは、実はアユをただ放流するよりも手間と人手が掛かる作業です。しかしこうした地道な取り組みの継続が何より大切です。

天然アユの特徴は、釣ったときのアタリと引きの強さ。そしてそのおいしさです。天然物は身の締まりが違うと言われます。

私たちの取り組みの大きな成果のひとつが、全国から集まったアユを食べ比べて食味を競う『清流めぐり利き鮎会』でグランプリ（平成23年）と準グランプリ（平成26年）を受賞したことです。その知らせを聞いたときには耳を疑い、まさに信じられないという思いでした。

天然アユへの憧れと、おいしいアユという評判が定着し、いまでは全国の釣り人が、この物部川に熱い視線を注いでいます。

こんなに魅力的な川が、私たちのすぐそばに。

特集 物部川をもっと楽しむ

物部川漁協

水質をさらに改善し この豊かな水資源を守る

物部川のアユが『利き鮎会』でグランプリと準グランプリを獲得できた背景には、四万十川方式（木炭等の自然素材を活用し、主に微生物の力で水を浄化するシステム）による水質改善の取り組みがあると思います。

生活雑排水等の流入もあり、物部川下流のアユは泥臭いと言われてきましたが、川の水質を改善していくことで、アユの食味にも良い影響が出たのではないでしょうか。流域の方々には、下水道への接続や合併処理浄化槽の設置に、今後ともご協力をお願いしたいと思います。

また、平成25年度には、物部川上流域である物部町岡ノ内・別役地区に約3.5㌶の山林を購入し、ケヤキの苗木約2600本を植樹しました。この森を『元気の森』と名付け、水源としての機能回復や物部川の濁水軽減につながるよう育てています。

産卵場を造成し、天然アユが産卵しやすい環境をつくる

毎年たくさんの親子連れが参加する親子釣り大会

海で成長した天然アユが、春には物部川に帰ってくる

地域の宝・物部川にもっと目を向けて

物部川には全国の釣りファンが訪れ、その魅力を体感しています。

アユはもとより、アメゴ釣りも非常に魅力的な川です。これまで地道に行ってきた放流活動が実を結び、これまでアメゴがいなかったような支流の川でも釣ることができるようになりました。それは、いろいろな川に放流を続けてきたボランティアの皆さんがいてくれたことで、釣り場の底上げができてきたからです。県外からきた釣り人に話を聞くことがあるのですが、「この川よりアメゴが釣れる川は他にない」とよく言われます。

物部川は地域の宝。もっと物部川に目を向けて、もっと物部川で遊んでほしい。この豊かな自然を大切にしながら、ルールとマナーを守って楽しんでください。

物部川漁業協同組合 代表理事組合長
山本　幹男 さん

遊漁料金

■アユ・アメゴ・コイ・ウナギ

区分	料金
年券	7,000円
日券	2,000円
玉じゃくり	7,000円
網	11,000円
肢体不自由者	3,000円
70歳～79歳	3,000円
80歳以上	500円
中学生以下	無料

遊漁上の注意事項

①操業中は漁券が確認しやすい位置に装着し、監視員の求めに応じて提示すること。漁券の貸与はできません。
②次の魚は解禁中でも採捕できません。アユ（全長10ｾﾝﾁ以下）・アメゴ（全長10ｾﾝﾁ以下）・ウナギ（全長21ｾﾝﾁ以下）・コイ（全長15ｾﾝﾁ以下）
※漁法や禁漁区等の制限があります。詳細はお問い合わせいただくか、物部川漁協ホームページをご覧ください。
HP http://monobegawa.sakura.ne.jp/
☎53−3224

※物部川のおいしい天然アユを、かみかみクイズでプレゼント！（26ページ）